

「クラギ文化ホール大規模改修に関する事業実施及びクラギ文化ホール・農業屋コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の運営手法（指定管理制度等）について」のサウンディング型市場調査結果の公表について

松阪市産業文化部 文化課 市民文化会館

松阪市ではクラギ文化ホールの大規模改修に関する事業実施及びクラギ文化ホール・農業屋コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の今後の運営手法についてサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

1 実施概要

実施内容	日 程
①実施要領公表	令和2年11月11日(水)
②現地見学会	令和2年11月13日(金)～12月9日(水)
③質問受付	令和2年11月11日(水)～12月9日(水)
④質問回答	令和2年12月16日(水)まで
⑤提案受付期間	令和2年12月7日(月)～令和3年1月15日(金)
⑥個別ヒアリング実施	令和3年1月20日(水)～2月3日(水)

2 参加業者

現地見学会 3 事業者
提案書提出 6 事業者
個別ヒアリング 5 事業者

3 主な意見等

① クラギ文化ホール大規模改修に関する事業実施について
(ア) クラギ文化ホール大規模改修工事のスケジュール及び事業手法
<ul style="list-style-type: none">・部分休館をしながら、工事期間中も運営を継続する方法もある。・改修前に指定管理者制度を導入し、予約受付を先行して行う方法もある。・実施手法はR0方式とすることで、民間活力を生かすことができる。・デザインビルド方式ではコスト変動の可能性が大きいため、設計施工分離発注がよい。・大規模改修においては調査の難易度が高く、事前調査に時間、費用がかかるため、設計・施工の分離発注がよい。

(イ) 特定天井
<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット改修ではホールの美観が損なわれ、音響にも少なからず影響がある。 ・ 天井の重量および形状からネットへの負担が大きくなるので、準構造化が適切である。 ・ 費用面で考えても、天井を含めたホールの長期閉鎖に関する工事に関しては、まとめて発注した方がよい。
(ウ) 改修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 客数を減らし、席を交互に配置するなど観覧しやすい配置にする事例もある。 ・ 駐車区画線等の整備も必要。 ・ 災害時の市民の避難場所としての活用も検討に含めた改修内容にしてはどうか。
② クラギ文化ホール・農業屋コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の運営手法（指定管理者制度等）について
(ア) 指定管理者制度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3館一括での指定管理導入は、効率的な運営管理が可能。 ・ 指定管理の期間は5年以上が望ましい。 ・ ホール施設は特殊な管理運営技法や危機管理が必要なため、一定規模のホール管理経験のある事業者を対象とするのが望ましい。
(イ) 文化ホール運営業務に係る自主事業
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3館の特徴を生かし、興行的な公演を含めた鑑賞型事業や市民参加型事業、育成事業などバランスのとれた展開が可能。 ・ 自主事業に予算をつけると円滑な運営が可能。
(ウ) 子ども支援研究センター（主にレストラン跡）の利活用
<ul style="list-style-type: none"> ・ クラギ文化ホール、農業屋コミュニティ文化センターを併せて、文化振興拠点として貸館施設として利用可能。 ・ コミュニティカフェの設置。 ・ 文化会館の指定管理からは切り離して考えた方がよい。 ・ 音楽教室やダンス教室として活用が可能。
(エ) 施設の利活用
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3館一括での指定管理の場合、パンフレット、HPの一体化、予約受付の相互補完が可能。

<p>③ 本事業について提案・課題・問題点等がございましたらご教示ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理制度を導入する場合、その目的や将来的な施設の活用方法など、自治体の指針を明確にするべき。 ・改修段階から運営会社に関わることにより、運営の視点を入れることが可能。 ・工事、管理運営は実績のある企業を募集する方が良い。 ・先に指定管理業者を決定し、意見を取り入れながら設計することで、今後のよい運営につながる。 ・コロナ対策を考えた設備が必要になる可能性がある。
<p>④ 事業全般を通じて、本市に対する希望・要望等がございましたらお聞かせください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理期間は3～5年と短いため、PFI手法により20年程度の事業期間があれば、安定した運営が可能となる。 ・地元に事業利益が還流できるように、地元を中心とした施設整備を検討してほしい。

4 今後の方針

今回のサウンディング結果により、事業者の皆様からいただいたご意見を参考に、長寿命化に向けた改修工事の手法を検討し、文化芸術事業の充実やサービスの向上、運営の効率化を目指し、さらなる施設の活性化を図るべく、民間事業者による運営手法（指定管理者制度等）の導入について検討を進めていきます。